

● 映画 ●

『マイスマールランド』



©2022「マイスマールランド」製作委員会

日本に逃げてきたトルコ国籍のクルド人で、これまで日本政府が難民として認めた人は一人もいない。難民

認定申請者は「不認定」立場に立たされる。映画『マイスマールランド』は、その過酷な現実を2年にわたる取材

を基に描いた作品だ。日本で「在留資格がない」という意味を、嫌というほど分からせてくれる。

日本は、難民条約に加入している欧米諸国と比べれば、考えられないほど難民認定率が低い。埼玉県川口市に、日本最大といわれるクルド人共同体がある。クルドの文化を守りながら助け合って生きている。17歳の女子高生、サーリヤもそのうちの一人。

母は既に亡くなり、父親と妹弟の4人暮らし。小学校の先生にな

ることを夢見て、大学進学を目標に奮闘している。学費をためようと、学校が終わると、父親に内緒ですぐにアルバイト先に向かう頑張り屋さんだ。

しかし突然、その平穏な日常が一変する。父親が求めていた難民認定が「不認定」になったのだ。「不認定」になった途端、それまで家族全員が保有していた在留カードは無効となり、「非正規滞在の外国人」として扱われる。

就労が禁止され、国民健康保険の加入もできない。居住地埼玉

県以外には許可しななつた「入管法改定案」(政府案)が再度提出される可能性が高い。政府案には、「母国への強制送還を拒否した外国人」を支援する者さ

も、全てが一瞬のうちに吹き飛んだ。さらなる追い打ちが一家を襲う。なんと父親が入管施設に収容されてしまうのだ。しかし、子どもの未来を案じた父親は、命を懸けたある決断をして、この苦境に立ち向かう

のだったが…。今秋の臨時国会には、昨年5月に廃案にされた「難民」たちの痛みは骨身に染みる。全国公開中。公式サイトは <https://my-smallland.jp/>。

smallland.jp/。バンダイナムコアーツ配給。